

スクールバスに関する調査 集計表

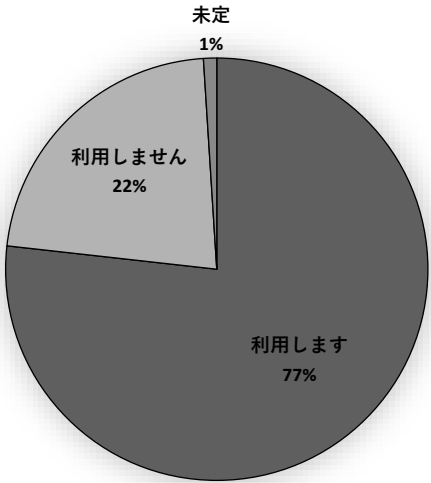
回答数

	配布枚数	回収枚数	回答児童数	回答率
牛堀小学校	181	119	169	93.4%
牛堀中学校	36	21	29	80.6%
合計	217	140	198	91.2%

スクールバスを利用するか

	利用します	利用しません	未定	合計
回答	152	44	2	198
割合	76.8%	22.2%	1.0%	100.0%

スクールバスの利用調査



■利用します ■利用しません ■未定

バス停別利用者数

	A.清水	B.茂木	C.堀之内①	D.堀之内②	E.牛堀①	F.永山①	G.永山②	H.牛堀②	I.島須①	J.島須②	K.島須③	その他	合計
登下校で利用	8	2	2	8	6	12	15	29	9	4	12	35	142
登校のみ利用	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
下校のみ利用	0	1	0	0	1	0	2	3	0	0	0	1	8

152

バス停別利用者数 ※登校時利用者 = 登下校+登校のみ、下校時利用者 = 登下校+下校のみ

	A.清水	B.茂木	C.堀之内①	D.堀之内②	E.牛堀①	F.永山①	G.永山②	H.牛堀②	I.島須①	J.島須②	K.島須③	その他	合計
登校時利用者	8	2	2	8	6	12	15	30	10	4	12	35	144
下校時利用者	8	3	2	8	7	12	17	32	9	4	12	36	150

問5 設置してほしいバス停

・上戸（大里機械店周辺）	2	・けんしん	3	・稲敷三島セブン	3
・上戸	5	・県営	1	・位置を正確に知りたい	2
・野口精肉店	2	・八代小学校	3		
・横須賀集落センター	2	・永山西集落センター	1		
・横須賀（高野電設）	5	・諏訪神社	3		
・台上戸	1	・フレンズ（牛堀）	1		
・木村商店	2	・清水田園集落センター	2		

問6 ご意見ご質問

部活動に関すること

平日は遅くても16時45分までに帰らないとクラブの練習に間に合わない。
部活の時間にバスを合わせてほしいです
部活動の有無にもよるので確定ではない。
部活動に加入した場合、早便・遅便の設定はあるのか。
部活動の地域移行に伴い、学校から活動場所への移動費などにもスクールバスを活用できるか。
部活動に入学希望だけでも帰りもバスを利用したい。
帰りの便を遅くしてほしい。

乗車確認について

朝のバスや帰りのバスの時間をメールなどでお知らせしてほしい。
ちゃんと乗り降りのチェックをしてほしい。
高学年に任せるのもどうかと思う。

バス停について

横須賀にもバス停を作してほしい
概ね3kmとしているが、上戸は利用できないのか。どこの地区でも使えるように平等にしてほしい。
バス停までの距離が遠い
現在利用しているバス停と同じ場所にバス停を設置してほしい。
上戸の信号を超えて通学することに不安がある。小学校のバス停である高野電設にバス停を設置してほしい
横須賀にもバス停を設置してほしい。
小学校のバス停にもなっている高野電設付近においてほしい。
バス停はなるべく家に近いほうがいい。
県営住宅に住んでいる子が多いため、県営にバス停を設置してほしい。
タイヨーにバス停を設置してほしい
バス停の正確な位置を知りたい
最終的なバス停の位置が決められないと使用するか決められない
国神社とヘルスランドさくらの間の場所ですがバスがありません。
バス停によっては徒歩で行くのが難しい。その場合の自転車置き場は検討されますか。

国道について

国道は細く、草木が飛び出ているところもあり通学に使うのは危険だと思う。
安全な通学路を確保してほしい
自転車を通える距離ではないが、51号線沿いの歩道は狭く不安がある。
国道が通学路になるため、定期的に草刈りしてほしい。
国道の整備、通学路の確保ができれば自転車通学も検討に入れている
通学路の除草活動はしてほしい
通学路の安全が確保できないため、牛堀学区内はすべてバス通学にすべき。
天候の悪い日は特に国道県道を送付するのは危険だと思う。
草木の伐採など通学路を定期的にチェックしてほしい

利用者負担について

統合により発生する個人負担を免除することはできないのか
バス代は市で負担してほしい。牛堀学区だけ払うのは不平等である。
無料にしてほしい
統合して保護者の負担が増えるのはおかしい。
兄弟がいる場合は半額などがあるが、上の子が義務教育を卒業してしまうと半額にならないのは不平等だと思う。
バス代を無料にしてほしい

その他

まだ何も決まっていな中でバスを決めろと言われても困る。
利用するかは検討中
保護者の意見をもっとしっかり聞いてほしかった
自転車で通学したいと考えている。
直前に再調査をお願いいたします。
今まで通り帰宅できるか不安が残る。